

「ふるさと感覚の培養」を 基調とした事業を実施

記念事業企画委員会が答申

市制施行三十周年記念事業企画委員会猪股武雄会長・委員十人は、三十周年にふさわしい記念事業を検討してきましたが、八月一日、検討結果をまとめ、市長へ答申しました。

これは、来年六月一日が三十周年記念日にあたるため、「三十周年を全市を挙げて祝おう」と、五



「答申内容が開花することを期待します」と市長に答申書を手渡す猪股会長

月十七日同記念事業企画委員会を設置し、市長が同委員会に諮問していたものです。記念式典は、カルチャーセンターの完成を待って、同センターで行うこととし、記念事業では①記念道路の建設 ②国道8号の南北入り口と中央部に大風実物大の看板の設置 ③広報しるね特集号の発行 ④記念ビデオの制作 ⑤記念作文、論文の募集など七項目に取り組みこととし、記念行事では、六十四年度中を三十周年記念年間とし、来年度中に市や各種団体が行う事業を記念行事として位置付け、特に①白根マラソン ②大風合戦 ③巡回市展 ④市民運動会 ⑤総合スポーツ大会は、各団体と提携を図り

積極的な援助を行い、盛大な記念行事として実施するよう求めています。

記念事業の推進 連絡会議を設置

市では、三十周年記念事業企画委員会からの提言を推進するため、市制施行三十周年記念事業推進連絡会議（会長1助役・委員十人）を設置し、八月十九日初会合を開きました。

今後は、同連絡会議内に関係課長を中心として設けた ①総務部 ②文化体育スポーツ部 ③産業観光部 ④保健福祉部 ⑤環境整備部で協議、検討し、部門別の実施計画を策定することとしています。各部会では、検討結果を十一月中旬までに連絡会議へ報告し、連絡会議は、十一月下旬までに具体的な実施事業を決めていきます。三十周年を全市で祝い、記念事業を成功させましょう。

答申要旨

●記念式典
カルチャーセンターの完成を待つて式典を行うこととし、市民だれもが気軽に参加できる集いにするため、酒宴は行わないことにします。式典1功労者表彰など、アトラクション 記念講演会

●記念事業
記念道路の建設1国道8号からカルチャーセンターまでの道路建設を計画し、記念樹、ガス灯、プロンズ像、花壇などを設け、歩道には市民の手・足型、夢、名前などを刻んだプレートを敷き、親しまれる道路建設をします。

●記念式典
記念看板の設置1風合戦、観光果樹園、仏壇、農産物などの有効な観光資源があるものの、風合戦以外はあまり知られていません。このため、国道の南北入り口と中央部に、大風実物大の看板を設置し、観光物産をPRします。

●広報しるね特集号の発行1現行の広報紙とは別立ての特集号として、市内の各種団体から推薦された人に取材、編集、校正などすべてを任せ、市民参加による手づくり広報紙を次のとおり発行します。

□創刊号のスタッフ：婦人を中心
□第二号のスタッフ：小中学生を中心
□第三号のスタッフ：各種団体から推薦された人
●記念ビデオの制作1三十年の歩みを盛り込んだビデオを制作し、後世に伝えるとともに、観光事業や企業誘致に役立てます。

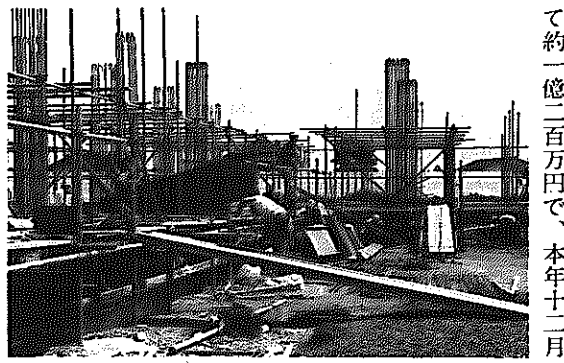
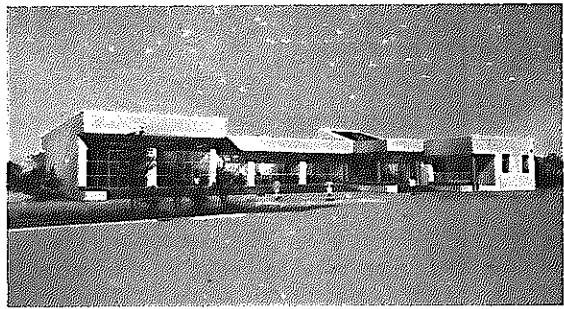
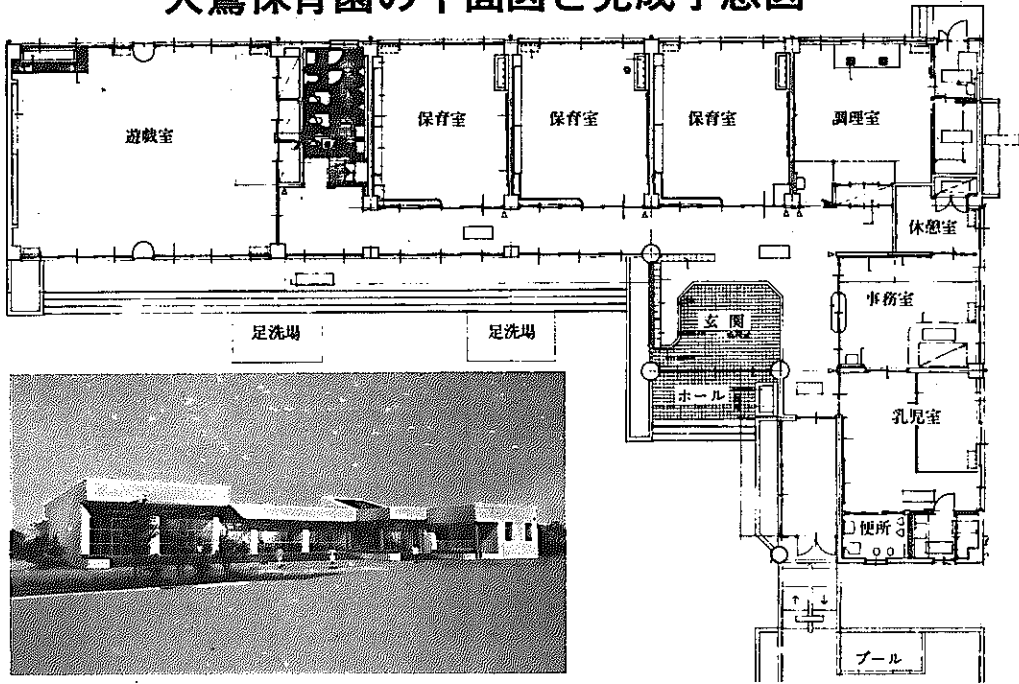
●記念式典
高年生、一般の各層から、十年後といつた近未来の本市の姿をテーマに募集し、一冊の本にまとめます。優秀作品は広報紙などに掲載し、記念式典で表彰します。

●記念行事
来年度中に、行政や各種団体が行う事業を記念行事として位置付け、一層充実させます。特に次の行事は、各種団体と提携を図り、積極的な援助を行い、盛大に行うことにします。

●カルチャーセンター完成後に実施するもの
次年度の事業を記念事業の一つとして行います。

□小林幸子ショーかNHKのど自慢
□敬老・福祉大会：地区別で行っていただくものを一堂に会して開催
□市民産業祭り：商・工・農業や消費者が一体となった全市規模の産業祭りを開催
□スポーツフェスティバル：全日本レベルのチームや個人を招く

大鷲保育園の平面図と完成予想図



大鷲保育園の建設に着手 来年には初の統合保育園が開園

新しい大鷲保育園の建設工事が始まりました。

これは、今の鷲ノ木と大鷲の両保育園を統合して、来年四月に開園するもので、本市にとっては、統合保育園の第一号となります。

新しい保育園は、鉄筋コンクリート造り平屋建てで、外周りは窓を多くし、できるだけ自然光を取り入れるようにしています。建築工費は、外構工事を除いて約一億二千万円、本年十二月

定員70人で開園

新しい保育園の定員は乳児を含めて七十人で、工事費の一部は厚生年金・国民年金積立還元融資を受けて建設されます。

現在の鷲ノ木保育園は昭和三十一年十二月に、大鷲保育園は三十五年一月に建築し、両保育園とも定員は六十人ですが、かつては定員オーバーし、保育室を増築したこともあるほどです。

しかし、ここ数年園児数が減り始め、今では鷲ノ木が二十二人、大鷲が四十二人の合わせて六十四人の園児となっています。

白井・庄瀬保育園で 水洗式便所が完成

年次計画で行っている便所の改修工事は、本年度は白井と庄瀬両保育園で完成し、喜ばれています。今回の工事は二百四十万円かけて行われましたが、白井保育園では「新入園児はくみ取り式便所を怖がって困りました。また、梅雨ごろからのおいもし始め、ハエも発生するため不衛生でした。この完成をいちはん喜んでるのは園児です」と話していました。

5校でも改修工事が完了

一方、新飯田中、庄瀬小、白井小・中、戸石小学校の五校でも、約九百万円をかけて簡易水洗式に改修し、「においがしないで使いやすいようになった」と、児童・生徒から喜ばれています。

本年度も夏休みを利用して工事が行われましたが、今回の完成で年次計画で進めてきた古い便所の改修はすべて完了したことになります。



白井保育園の便所改修工事